

1

株式会社 J V C ケンウッド

	各社の考え方
① 算定を行う背景・目的	<ul style="list-style-type: none">● 当社は、サステナビリティ推進活動における優先的な重要課題（マテリアリティ）の一つとして、深刻化する気象変動への対応を行ってまいります。● 環境に配慮した企業経営を進めるため、当社環境基本方針に従って、温室効果ガスの排出量全体を把握し、優先して削減すべきカテゴリを特定することを目的とします。
② 算定結果の活用方法	<ul style="list-style-type: none">● WEBサイト等にて、非財務情報の一つとして算定結果を開示します。● サプライチェーン上の取引先／関係者との、環境活動における連携を強化します。
③ 算定のメリット	<ul style="list-style-type: none">● 優先的に削減すべきカテゴリを特定し、排出削減すべき活動を明らかにできます。● 社内外に環境活動に取り組む姿勢を示し、排出量削減に向けた活動意識の共有ができます。● 外部からのスコープ3に関する問い合わせや、各種企業調査への回答に使用することができます。
④ 社内の算定体制	<ul style="list-style-type: none">● 今回の算定は、当社環境マネジメントシステムの適用範囲に従い、関連部署よりデータを収集し、算定を行いました。● 今後は、本社・サステナビリティ推進室が中心となり、当社環境基本方針の適用範囲に従い、関連部署よりデータを収集し、算定を行う体制を組んでまいります。

2

株式会社 J V C ケンウッド

	各社の考え方
⑤ サプライチェーン排出量の削減に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ● 部品点数の削減や生産地域の現地調達化により、原材料調達時のCO₂排出量削減活動の「見える化」に取り組みます。 ● 製品出荷時の、物流による排出量の削減に取り組みます。 ● 省電力製品の開発等により、製品使用時の排出量低減を目指します。
⑥ サプライチェーン排出量算定の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回の算定の組織的範囲について、海外は生産拠点のみを対象としております。当社は、サプライチェーン排出量削減の取り組みを更に深化させるため、グループ内のより多くの組織を算定対象にすることを目標に、活動してまいります。 ● 各カテゴリーのデータについて、より直接的な活動量の使用を増やし、精度の向上を目指します。 ● 特に、カテゴリー1における物量ベースでの排出量計算、カテゴリー4における原材料輸送時の算定方法、およびカテゴリー11における製品の消費電力、想定使用時間の計算方法が今後の課題です。
⑦ その他 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ● このマークは、当社が推進する「JKサステナビリティ」のシンボルマークです。 ● 当社は、“感動と安心を世界の人々へ”を企業ビジョンとして掲げ、「顧客価値創造企業」として、持続型社会の実現に貢献してまいります。



3

株式会社 J V C ケンウッド

カテゴリ	算定方法 ※算定対象期間：2017年4月～2018年3月	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	● 原材料購入金額データ	● SC-DB [5]産業関連表ベース排出原単位
カテゴリ2「資本財」	● 固定資産データ	● SC-DB [6]資本財価格当たり排出原単位
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	● 電力、ガス、熱使用量データ	● SC-DB [7]電力・熱使用量当たり排出原単位
カテゴリ4「輸送、配送（上流）」	● 製品出荷量データ	● SC-DB [2]温対法算定・報告・公表制度における【輸送】に関する排出係数③トンキロ法
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	● 廃棄物量データ	● SC-DB [9]廃棄物種類別排出原単位
カテゴリ6「出張」	● 従業員人数データ	● SC-DB [13]従業員当たり排出原単位
カテゴリ7「雇用者の通勤」	● 従業員人数データ	● SC-DB [14]従業員人数：勤務日数当たり排出原単位
カテゴリ8「リース資産（上流）」	【算定除外】当社スコープ1、2として算定済みのため除外	-
カテゴリ9「輸送、配送（下流）」	【算定除外】製品出荷輸送は自社荷主ため、カテゴリ4に計上済みのため除外	-
カテゴリ10「販売した製品の加工」	【算定除外】半製品出荷量が極めて小さいため除外	-
カテゴリ11「販売した製品の使用」	● 製品出荷量データ ● 製品消費電力・使用時間データ	● SC-DB [1]温対法算定・報告・公表制度における排出係数
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	● 製品出荷量データ ● 製品重量データ	● SC-DB [9]廃棄物種類別排出原単位
カテゴリ13「リース資産（下流）」	【算定除外】該当するリース資産が無いため除外	-
カテゴリ14「フランチャイズ」	【算定除外】フランチャイズによる事業が無いため除外	-
カテゴリ15「投資」	【算定除外】投資による影響が極めて小さいと考えられるため除外	-

4

株式会社 J V C ケンウッド

サプライチェーン排出量算定結果

Scope3 CO2発生量(854,418t-CO2e)

